

# SOSはなぜ届かない

## 岩日タイムズ

発行者  
岩瀬 日本大学  
高等学校  
ソーシャルメディア部

鴨志田 紘花

### みんなで守ろう大切な命

#### 桜川市男女共同参画講演会

昨年12月25日、桜川市羽田の大和ふれあいセンター「シトラス」において、桜川市の男女共同参画講演会が行われた。市内の医療・教育関係者など、児童虐待の問題に関心のある約200名が熱心に耳を傾けた。

筑西市児童相談所に勤務する森田勝さんと県西メディカルセンター

副院長の小児科医、中原智子さんを講師に迎えて講演が行われた。



児童虐待について講演する森田さんと中原さん

児童虐待が増加傾向にあるばかりでなく、政府もその現状を踏まえて様々な対策をとってはいるものの、虐待の件数が減る傾向は一向に見られない。そんな現状の中、中原さんと森田さんが訴えた。森田さんによれば、児童虐待の

件数が急増していることを提示し、私達に対して痛切な現実を突きつけた。虐待に対し学校側が取るべき処置や、その処置を踏まえた上で児童相談所へためらわず相談してほしいという意を伝えた。

中原さんは、自身が勤務中に会った「異常に体中に傷がある子ども」「退院後に体重が減ってしまった子ども」「じっとしてられない子ども」などを例に挙げ、現在の虐待の悲惨な現状を示した。講演を始めよと思ったきっかけについて中原さんは「虐待をされている子どもが年々増えてきている」と述べた。

### 児童虐待

虐待には、子どもの身体に外傷が生じる暴行を加える「身体的虐待」、子どもにわいせつな行為をすることや、させることなどの「性的虐待」、子どもの前で配偶者などに暴力を振るう「面前DV」

（ドメスティック・バイオレンス）や暴言など、著しい心理的外傷を与える言動を行う「心理的虐待」、子どもの心身の正常な発達を妨げる著しい減食、または長時間の放置、その他保護者として責任を怠る「ネグレクト」の4種類に分類される。

### 編集後記

昨年の県内における児童虐待は1237人と過去最多を更新した。（2月8日付茨城新聞）一昨年の船戸結愛ちゃん、昨年の栗原心愛さんの事件に代表される虐待の問題はニュースで頻繁に取り扱われるようになり、それを題材にしたテレビ番組なども増えた。事件が報道される度に「なぜわが子を虐待なんてできるのだろう」「信じられない」といった感想を持つ人がほとんどだろう。しかし、それは自分とは関係のない出来事として、やがてほんやりと忘れ去られてしまふのではないだろうか。そうした私たちのとらえ方こそ、虐待を容認する社会が形成される一因となっているのではないだろうか。

児童虐待の発生は、常に私たちが生きるこの社会と密接に関わっており、虐待は決して珍しいことではないのだと、しっかりと認識しなければならぬと考えた。（鴨志田）

## SOSはなぜ届かない

## 岩日タイムズ

虐待記事をまとめた「岩日タイムズ」特別号